

1. 日時

2025 年 9 月 19 日（金） 16:00~18:00

2. 場所

東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室（対面のみ、オンライン配信なし）

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

3. 申し込み方法

後日記載

4. タイトルと趣旨

「環境経済・政策学のこれまでとこれから～産官学連携に向けて」

環境経済・政策学会は、1995 年に設立された。設立当時は、1992 年にリオ地球サミット、1993 年に環境基本法成立、と国内外で環境政策の大きなうねりが生じた時代であり、環境政策関連の学問領域も、発展途上にあったといえる。それから 30 年が経過し、環境政策そして環境政策を支える学問が、それぞれ大きく発展した。環境経済・政策学会はこの発展に大きく寄与してきたと言える。

かつて環境政策は、国や国際社会が決定し、法律や条約等で実施することが想定されていた。しかし、現在では、社会は複雑に絡み合い、単純な法規制では環境保全に間に合わない状態となっている。その中で、企業や自治体などいわゆる非国家主体の自発的な役割がますます重要になっている。環境経済・政策学会は、設立当初より、大学教員や研究者のみならず、企業、行政、NPO など多様なステークホルダーの積極的な参画を特長としてきた。さまざまな主体の対話の場としつつ、当学会の今後の発展の方向性を議論することを、本シンポジウムの趣旨とする。

5. プログラム（演題は仮、敬称略）

16:00~16:05 開会挨拶、シンポジウム趣旨説明

有村俊秀（30 周年記念シンポジウム実行委員長、早稲田大学）

16:05~16:25 学会の歴史を振り返る

細田 衛士（元学会長、元東海大学副学長）

16:25~16:45 ご講演 1

伊原 彩乃（ボストンコンサルティンググループ プリンシパル）

16:45~17:05 ご講演 2

林 礼子（BofA 証券株式会社取締役副社長）

17:05~17:55 パネルディスカッション

パネリスト

- 丹羽 恵久（ボストンコンサルティンググループ マネージング・ディレクター
&シニアパートナー）
 - 林 礼子（BofA 証券株式会社取締役副社長）
 - 大森 恵子 （環境省地域脱炭素推進審議官）
 - 横尾 英史 （一橋大学経済学研究科、学会員）
- ファシリテータ 中井美和（立命館大学経済学部）

17:55~18:00 閉会の挨拶

竹内 憲司 （現学会長、京都大学経済学研究科）

司会 鶴見哲也 （南山大学総合政策学部）

18:15~19:30 懇親会 （同じ建物の B1, 食堂）